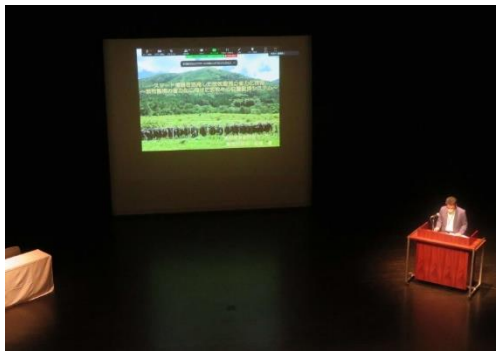
中山間地域のスマート放牧シンポジウム 三瓶山西の原にて開催

令和４年9月7日（水）～9月8日（木）の2日にわたって、農研機構西日本農業研究センターと当センターとの共催による「中山間地域のスマート放牧シンポジウム」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念されましたが、現地会場とWebとのハイブリット開催とし、100名を超える参加者があり、盛況のうちに終了しました。



シンポジウム(1日目)の風景

トラクタ装着式フレールモアを用いた雑灌木の刈り払い

1日目は、出雲市内の会場にて、荒廃農地から放牧場への再生方法、スマート機器を利用した放牧管理技術について講演がありました。
2日目は、大田市三瓶町の西の原にて、放牧場でのスマート機器での放牧牛管理を間近で見てもらいました。

参加者の方から多くのご意見・ご質問をいただき、有意義なシンポジウムとなりました。

GPS機器を使った放牧牛の管理

作溝型簡易草地更新機を用いた草地の造成

詳細については、繁殖技術科までお問い合わせください。